

記入例  
猶予を受けようとする金額が100万円を超える場合（個人）

令和2年 X月 X日

財産目録

1 申請者名等

住所所在地	〇〇県〇〇市〇〇 〇丁目〇〇番〇〇号	氏名称	木更津 太郎
-------	--------------------	-----	--------

2 財産の状況

(1) 預貯金等の状況

金融機関等の名称	預貯金等の種類	預貯金等の額	金融機関等の名称	預貯金等の種類	預貯金等の額
手持ち現金	現金	200,000 円	〇〇銀行 〇〇支店	定期預金	120,893 円
〇〇銀行 〇〇支店	普通預金	524,570 円	ゆうちょ銀行	通常貯金	100,000 円
〇〇銀行 〇〇支店	当座預金	1,200,000 円			円
現金・預貯金等合計					2,145,463 円

(2) 売掛金・貸付金等の状況

売掛先等の名称・住所	種類	回収予定日	回収方法	売掛金等の額
		・		円
		・		円
		・		円
		・		円

(3) 借入金・買掛金の状況

借入先等の名称	借入金等の金額	月額返済額	返済終了(支払)年月	追加借入の可否	担保提供財産等
〇〇金融公庫	15,000,000 円	50,000 円	令和20年 10月	可・ <input checked="" type="radio"/> 否	不動産(自宅【土地・建物】)
株式会社〇〇ローン	400,000 円	30,000 円	令和2年 10月	<input checked="" type="radio"/> 可・否	
	円	円	年 月	可・否	

(4) その他の財産の状況

財産の種類	金額
国債・株式等 国債:口数(〇〇口) 株式:株式会社〇〇 株数(〇〇株)	3,000,000 円
不動産等 自宅(土地・建物)	20,000,000 円
車両 メーカー及び車種・年式等を記載してください。	1,000,000 円
その他財産 (敷金、保証金、保険等) 保険名及び契約者等	掛金の額 円

3 当面の必要資金額

※概ね1カ月以内の金額もしくは資金手当てしなければ事業継続ができなくなる支出は必要最小限の範囲内でこの金額に含めることができる。※

項目	金額	内容					
支出見込	210,500 円	仕入	円	従業員給与	円	役員報酬	円
		家賃等	円	諸経費	円	借入返済	円
			円		円		円
		住居費(家賃・住宅ローン・駐車場代)	50,000 円	食費	35,000 円	被服費	10,000 円
生活費 (個人の場合)	3 人	水道光熱費・通信費・新聞代(ネット料金含)	30,000 円	こづかい・交際費等	10,000 円	保険掛金	12,500 円
		その他ローン(事業用を除く)	30,000 円	医療費・教育費・養育費	23,000 円	家族等の収入・家族等からの借入等(マイナスで記入)	10,000 円
			円		円		円
収入見込	230,000 円	給与・報酬(手取)	200,000 円	年金 事業所得 (1か月相当)	30,000 円		円
			円		円		円

※本書に記載した金額(数値)等の根拠となる資料(帳簿・通帳など)を必ず添付してください。  
資料がない場合は申請書の受理ができません。